



特集

語り継ぐ平和への思い

8月15日 今年も忘れてはいけない終戦記念日がやってきます。
死に直面した戦争被災者の体験談や、市内の中学生が平和学習で学んだ
さまざまなことに触れ、平和とは何か考えるきっかけにしませんか。

問い合わせ 人権・男女共生課 ☎ 38-2055

私の戦争体験

美野 欣三郎さん

教師の分厚い胸

私が戦争を体験したのは中学1年生くらいのときです。当時、私は神戸市兵庫区に住んでおり、勤労学徒として西明石の航空機製作所で従事していました。

その日、警戒警報が鳴ったので防空壕へ避難していたところ、そばの池に1トン爆弾が落ちました。1トン爆弾とは、市役所の半分くらいの穴が開く、相当な威力を持つ爆弾です。そのような爆弾が落ちる寸前、一番外側にいた私の背中を誰かが抱きしめてくれました。先生でした。怖く、生徒皆から恐れられている先生でしたが、とても生徒思いの優しい先生でもありました。その先生の温かくて分厚い胸が背中を感じられ、こんな先生がおられるのだと感激しました。

幸い、全員無事に工場へ帰れましたが、工場は集中的に爆撃され壊滅状態です。南の方を見ると、普段は建屋で見えない淡路島が手に取るように見えました。

父の炊いたごはん

終戦の年の3月17日夜に神戸大空襲があり、B29が黄燐焼夷爆弾を矢のように降らせました。その時、父から「わしは家で死んでもいいからお前たちは逃げろ！」と言われ、母と私は2人で山に向かって逃げました。川に架かる1本橋に群衆が詰めかけ、橋を渡ろうとひしめています。今、焼夷弾が落とされたら死ぬなと思ったとき、2個の爆弾が視界の端ではじけました。布団をかぶり、母を抱き寄せ土手にしゃがみ込みました。しばらくして、火のついた布団をはねのけ、あたりを見

渡すと20～30人の死者やけが人がうずくまる悲惨な状態でした。

ふと足元に目を落とすと、50cm先の地面に大きな酒瓶くらいの穴が開いて、そこから紫煙が上っています。不発弾です。「助かった！」と思いましたね。

山まで母を連れて逃げ、振り返ると空は真っ赤に染まり、町中が燃えています。その火を見ながら足がガクガク震え、止まりませんでした。母を残し山を下ると、自宅の一角だけがわずかに焼け残っていました。「バンザイ！」思わず叫び家に飛び込むと、薄煙が立つ中、父親がポツンと一人座っています。「おい、飯が炊けとるぞ！」父が私に言いました。母と家に戻り、焼け出された友達家族と握り飯をほおぼりながら生き延びたことを喜び合いました。

飯を炊いて、逃げた家族を一人家で待っている父親の沈着さを、私はとても誇らしく思いました。この時の気持ちがあったので、阪神淡路大震災で罹災したときにも、つぶれた家の中でご飯を探し当て、妻と二人で食べ、落ち着きを取り戻しました。戦争中に父がとった行動を知らず知らずのうちに生きていたんです。

威厳のある町内会長が…

6月15日に再び神戸で空襲がありました。警戒警報が鳴っているなか、町内会長から警備の位置につくように指示されました。所定の区域で見張っていると、南の方から油脂爆弾が落とされるのが見えました。爆弾が至近距離に落ちると、私と友達焼け残った他人の家に逃げ込みました。爆撃が過ぎしばらくする



美野 欣三郎さん

中学生の時に神戸市で経験した戦争体験を語っていただきました。
美野さんは現在、芦屋市シルバー人材センターで戦争体験を伝える活動をしています。

と、町内会長の家が燃えているからと消火活動を手伝いました。バケツリレーで水をかけましたが、3時間くらいで家は灰になってしまいました。普段は威厳のある立派な町内会長でしたが、焼け落ちた自分の家を見て呆然としゃがみ込む姿が印象的でした。次の日、この空襲で近所の50数世帯の内、26人が焼死したと聞かされました。

つながる命

この3回の死と直面した体験を孫2人に話して聞かせたところ、2人とも身じろぎもせずじっと聞き入っていました。その時、もしもあの時死んでいたら、こうやって息子や孫の顔を見ることはなかっただろうという思いが頭に駆け巡りました。幸運にも生き延びたこと、繋がっていく命に感慨を深めました。それと同時にこの経験を伝えていけないといけないと考えました。

今の平和は日本人の力

日本は大きな戦争を経験しましたが、今こうして平和が維持できているのは日本人の力だと思います。この平和を次の世代に繋いでいくには2つのことが大事だと思います。1つは、歴史をよく勉強すること。それからもう1つは、我慢をすることです。国の政治は、世界の歴史と繋がっています。それを学ばばおのずととるべき行動が決まります。国益を損ねることがあっても我慢して戦争にならないように努めるべきだと思います。

たゆまぬ平和への歩み展

市立中学校の平和学習資料の展示など



■日時 8月31日(木)まで
■場所 市役所北館1階展示コーナー

原爆死没者慰霊 黙とうのお願い

広島・長崎では、原爆死没者の慰霊と平和祈念の黙とうがささげられます。皆さんも、1分間の黙とうにご協力をお願いします。

広島原爆忌 8月6日 午前8時15分

長崎原爆忌 8月9日 午前11時2分

問い合わせ 人権・男女共生課 ☎ 38-2055